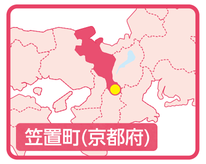
全国初の新規許可により、タクシーによる貨客混載が開始



取組の概要

貨物輸送の許可を取得していない事業者が新規許可を受けてタクシーによる貨客混載を行う事例として全国初となる取組が、平成30年10月より笠置町（京都府相楽郡）において開始された。

取組の成果

地元からの大きな反響がありました

関係者の声
笠置町
総務財政課
柚木 広介 氏

サービス開始当初に各社新聞紙面での報道がなされたほか、町の広報誌等にも掲載し周知を図りました。それまでは普段あまり見かけることも多くはなかったタクシーが荷物輸送のため町内に停留しているめずらしさも相まって、「あのタクシーは使えるのか？」「荷物の配達はどうやってもらえるのか？」といった問い合わせも寄せられました。

このような状況を踏まえて、町では山城ヤサカ交通株式会社の広報担当者に依頼し、本制度の周知用チラシの作成をいただき、町内の主要施設へ配布するとともに、多くの方にタクシーを利用いただくため、人通りの多い駅前に停留所を設けるなどの取組を行っています。

今後本制度の内容がより住民の方や町を訪れる方に浸透することで、電車を降りたあとの二次交通の発展につなげていければと感じています。

地域の足として利用いただいています

関係者の声
山城ヤサカ交通（株）
担当者

住民サービスの向上については、1年間にわたって行政のご協力、住民の皆さまへの直接的なお声がけ・営業を積み重ね、徐々にタクシーとしてのご利用が増えています。

荷物配送について役場からの直接の注文、福祉協議会経由での注文もいただくようになっており、益々地域の皆さまに地域の足として利用いただけるよう、佐川急便株式会社、行政、弊社の三者による協力体制を構築するとともに、本制度の周知をしていきたいと考えています。

全国初の、鉄道とタクシーを組み合わせた貨客混載の取組

取組の概要

平成31年４月より、宅配事業者の稚内営業所から幌延町への輸送について、稚内駅から幌延駅間は鉄道、幌延駅から各配達先への配達はタクシーを活用した貨客混載が開始された。こうした鉄道とタクシーという複数の輸送手段を組み合わせた貨客混載はこれが初めての取組。

取組の成果

町としても積極的に支援しました

関係者の声
幌延町
企画政策課
企画政策グループ
主幹 山下 智昭 氏

タクシーによる貨客混載が可能となったことを受け、ドライバー不足などの課題を抱える宅配事業者が他の交通事業者の活用による課題解決手法のアイデア提案を発端として事業形成が進みました。

幌延町としては、各事業者間の課題抽出や調整、現地での実証実験などの面で支援協力を進めました。JR宗谷線は利用促進策を展開している途上にあり、鉄道の多角的利用方法の一つとなるという観点からも、積極的に事業実施を支援しました。

再配達の仕組みがかわったりして、便利になりました

関係者の声
利用者

「再配達が即日受けられるようになったり、ハイヤーの事業所での受取も可能となったりと、受取方法が多様となって便利になりました」

「地元の運送事業者による配送のため、顔の見える安心感があります」

関係者の声
事業者

●運送事業者：天塩ハイヤー

1日当たり20個～60個の配達を行っています。既存の設備を有効に活用することができ、経営面でも効果を感じています。

●宅配事業者：佐川急便

当社では将来的な労働力不足に対応するために様々な輸送モードを検討しており、そのうちの一つが貨客混載事業で、労働環境改善・環境負荷軽減といった効果を期待しています。今回の取組は、移動時間の短縮による配達業務の効率化、従業員の労務負担の軽減、走行距離短縮に伴うCO_2排出量低減につながると考えています。

幌延駅での荷物積み込みから配達まで

※佐川急便のスタッフジャンパーを着た天塩ハイヤーの従業員が配達しています。